

兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内
～「妊孕性温存」相談室の受診にあたって～

【はじめに】

手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん患者の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性（妊娠のしやすさ）を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い男性では精子、女性では卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療医と各科のがん治療医が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。

このネットワークを通じて兵庫医科大学病院生殖医療センターで、医師らによる妊孕性温存カウンセリングを月～金の11:00～11:30に予約制で実施しています。このネットワークを利用するにあたり、かかりつけの先生に『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』に必要事項を記入のうえ、医療支援センター宛にファクス（FAX：0798-45-6002）してもらってください。

※相談料金は自費診療で10,000円（税別）をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額（自費）になります。

【持参いただくもの】

「妊孕性温存」相談にお越しの際は、以下のものをご持参ください。

- ①かかりつけ医からの「紹介状」
- ②兵庫医科大学病院の「予約受付票」
- ③健康保険証（ただし自費診療ですので、健康保険の適応ではありません。）
- ④当院の診察券（お持ちの方のみ）

※受診当日は予約時間の30分前に1号館1階 初診受付にお越し下さい。

※当日遅刻しそうな場合は下記の医療支援センターまでお電話ください。

・診療開始が予約時間から多少遅れることもありますのでご了承ください。

【紹介に関わるお問い合わせ先】

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

兵庫医科大学病院 医療支援センター

電話番号：0798-45-6001 FAX 番号：0798-45-6002